



信徒に愛される 神学校として

学校法人鶴川学院理事長

瀬戸 英治

(神学科 第40回卒)

農村伝道神学校は、1948年に日本キリスト教団の中央農村教化研究所としてスタートしてから今年で77年になります。この間に幾度かの危機がありました。一番大きな危機は1971年からの農業研修科、保育科の廃科、営利農場の廃止、そして東南アジア科の離脱であったことは間違いないところだと思います。このときにはまだ後援会はありませんでした。それで神学校を財政的に支えるために1980年に後援会が発足したのです。そしてその次の危機は、日本経済のバブルが崩壊し金利が低下、利息に頼っていた財政が急激に悪化、その赤字を減らすために全教職員が辞めることになったのが2003年でした。

この危機を乗り越えられたのは、理事会や教師たちの努力であるとともに後援会の働きが大きかったと思います。当時、後援会を中心として同窓生や諸教会に「緊急募金」を呼びかけました。その反響が予想以上に大きく驚きました。それは後援会のそれまでの働きが根についたものだったからと考えています。このことにより理事会は校地売却による再建ではなく、野津田にて神学教育を継続する道を選びました。その後、新校舎の建設に踏み切ることができ、今日に繋がっているのです。

後援会の発足から23年間、事務局を故岩高澄先生（第9回卒）が担ってくださいました。岩高先生は神学校に負担をかけてはいけないと後援会の事務を信徒の方々をお願いしていました。その考え

は後援会活動の基調となっていると思います。その後の古川力也事務局長（生田教会）にも引き継がれ、現在の長谷川りゑ子事務局長（林間つきみ野教会）にも生かされています。いま神学校では、後援会活動のために多くのボランティアが活動しておられます。その姿を見て、つくづく農村伝道神学校は信徒に愛される神学校なのだ、と思います。そしてそれはまた信徒に愛される伝道者を送りだしてきた証のように思うのです。

教会は高齢化が進み、大変な状況になっています。しかしいまのところ後援会献金と維持献金とも前年度並をキープしています。これがいつまで続くのかはわかりません。ともすると献金以外の収入に頼ろうとする傾向になりがちですが、神学校は諸教会そして信徒に支えられることを諦めてはならないと思います。なぜならその関係性にこそ神学校の命があるように思えるからです。

まず神学校のために祈ってください。そして農村伝道神学校を一人でも多くの方々に知らせてください。そして多くの人に神学校に触れていただきたいのです。後援会が作るグッズやジャムを味わって農伝を楽しんでください。そして学生を送ってください。いや、あなたが信徒宣教者コースや、オンライン授業や公開授業(10月21日～25日)の学生になって農伝を味わっていただきたいと願っています。



竹のオーナメントを作る農伝ボランティアの方々(古川力也さん他)

人はそうなりたくてなったのではない

私は兵庫県姫路生まれで毎日姫路城を見ながら育ちました。朝夕お経を唱える父は武家育ちの仏教徒でしたが、何故か私も姉も中学校からミッションスクールに通いました。私は学校の薦めで教会に通いだし、その内もっと立派な人に成れたら受洗しようと考えていました。ある日伝道師の先生から「自分が弱く罪ある者だからこそイエス様を信じて、主に従い助けられてゆくのです」と教えられ、こんな私だからこそ信仰を持ち続けたいと高校1年の秋に受洗しました。

高3の時、牧師の娘である先輩から農村伝道神学校保育科に誘われました。実は私、幼少期は引っ込み思案で幼稚園では門



小畑 眞知子
(旧姓 英保)
保育科 第14回生

の前で泣いて暴れる子でした。なのに小学校卒業時に、将来の夢は保育園の先生と書いていた事をハッと思い出し農伝の保育科に入学をしました。

そこでは保育主任のキリスト教保育の素晴らしさに引き込まれました。問題児に対しても「そうなりたくてなったのではない」と教えられ、これがすべての基本であり神の愛の教えとして感動しました。高校時代、教会のない瀬戸内海の島々へ伝道キャラバンに参加した事があり、その時から島しょ伝道や開拓伝道を希望していました。すると伊豆大島の波浮港保育園より保育士募集があり迷うことなく決めました。

波浮港保育園では園舎に住む私に園長先生が「洗濯機を備えました」と自慢気な報告でしたが、その他には冷蔵庫、炊飯器、レンジやトースターなど何もありません。でも島の生活には何も不自由は感じず、むしろ朝ご飯に温かいおにぎりを持ってきてくださるお掃除のおばさん、玄関に手作り弁当を置いていてくれる保護者、サザエを素潜りで取ってきてくれる電気屋さん、養鶏を営んでいる教会員の差し入れなど温かい人々に囲まれていた2年間の島生活でした。

その後結婚して、あっちこっち転勤しながら私の居場所である教会生活を続けていました。福岡に来てから学童保育の指導員を20年間務めました。子育て放棄の親、虐待された女の子、万引きが止まない子、バイク泥棒、家庭内暴力と様々な事に出会いましたが、子ども達にはコマ回し、竹馬、けん玉、太鼓な



学童での太鼓の取り組み

で多くの体験を通して自信と喜びが持てるよう指導しました。

私が58才になった時、母がアルツハイマーに罹（かか）り我が家に引き取りましたが、家族で介護するのは身も心も潰れてしまいそうになりました。施設への入居はベストの選択ではないのですが、潰れそうな家族には必須です。そこで私は母の為にグループホームを立ち上げ、お金のない人、家族のない人、生活保護の人達も入れるようにしました。子どもや高齢者に対しても「そうなりたくてなったのではない」を心に留め、寄り添う介護に努めました。今は引退し、困っている人、動けない人、一人ぼっちの人を個人的にサポートしています。

主のお導きに感謝し、天国に行くその日まで出会う人々に寄り添って行きたいと願っています。



グループホーム清水の里で、バラ園へお出かけ

小畑眞知子さん著書『眞知子さん』（梓書院、2024年5月発行、全180頁。定価1,760円）に学童保育、グループホームほか詳しく書かれています。ご希望の方に無料・送料のみでお送りいたします。後援会(P.4)へご連絡ください。



農伝ルバーブ畑
永井 身奈子（農場スタッフ）

私が農村伝道神学校に出会ったきっかけは、坂田昌子さんの環境改善ワークショップです。3人の娘たちを育てながら



ルバーブ畑 手前の箕(み)の中にあるルバーブの茎



ルバーブ タデ科ダイオウ属 和名ショクヨウダイオウ(食用大黄)形は蓴に似ているが、ルバーブの大きな葉は有毒。茎をジャムやパイにする

“身体は食べた物で作られる”と日々感じ、食や環境のことを考えることが多くなりました。コロナ後からは田んぼを借りてうるち米と酒米を育て、お米やどぶろく、麴造りなどに挑戦しています。田んぼは湧き水が流れ、江戸時代の古地図に残る谷戸にあります。田んぼを囲む里山を歩くと、多くの樹々が立ち枯れているのに気がきます。人の手が入らなくなってどれくらい経つのでしょうか。斜面には篠竹が蔓延^{はびこ}り、見通せるのはわずかな尾根の小径だけ。目の前のこの状況に何ができるのか考えた時に坂田さんのワークショップに出会いました。

食に関心がありながらもルバーブを見るのは初めてでした。農場担当の松本さんに教えて頂きながら、下草刈りや環境改善で学んだ樹勢回復などを施していま

す。収穫する植物だけを見るのではなく、どんな風に植物たちが繋がっているのか、土壌の菌にも思いを馳せるのは、私に様々な視座を与えてくれます。

農伝ジャムを加工したのは初めてですが、長野県産や他の無農薬商品と食べ比べても明らかに素材の味が引き立ち美味しいと感じます。手前味噌にも思えますが、地に這いつくばり植物と顔を突き合わせながら、実りを頂戴してすぐに加工する。暑い調理室のガス3台をフル稼働して丁寧に煮ていく。瓶詰めまで全ての作業を終えるのに4,5時間かかる立ち仕事は、外作業に負けず劣らずなかなか重労働です。それでもジャム作りが楽しいのは、ボランティアの方々とおしゃべりして笑いながら作業しているからだと感じています。



ルバーブの茎を細かく刻む農伝ボランティア



ご寄付いただいた銅鍋でブルーベリーソースを作る

実りの時期を迎えられるのは1年に1度きり、この貴重な時間と共に季節の恵みをお届けすることができるこの農伝への繋がりと、何の見返りも求めず、多くの実りを与えてくれる自然に感謝します。農伝の樹々を守りながら私たち人間を含む全ての生き物が、共に生きていけるよう、自然からの大きな恵みを引き継ぐ道を皆様と考えることができましたら幸いです。

近江金田教会牧師

横田 明典（よこた・あきのり 神学科 第47回卒）

いま、思うこと

卒業生はいま!

卒業して30年弱。神奈川県紅葉坂教会で伝道師として約3年。その後、滋賀県の近江金田教会に赴任して25年が過ぎました。赴任当時、周りには30年、40年牧会を続けている牧師が結構いたので、「そういうものか…」と思い、気が付いたら県内では2番目の古株になっていました。本当にあつという間な感じがします。先輩方もそんな風に思っていたのかなあと思いつつ…。

48歳の時に娘が与えられて現在中学1年生。コロナ禍以降、明るく不登校をしている娘です。妻は働いているので、娘と日中つきあうことが多い毎日を過ごしています。このままあと10年20年と、こんな日が続いていくのかと思いきや、柄でもないことですが、5月の京都教区の総会で、議長に選ばれてしまいました。長く同じ教区にいたので、ということのようですが、何だか心穏やかではありません。ただ、これも試練かと思い、ぼちぼちやっています。

若い頃はあまり思わなかったのですが、牧師って体力仕事だなあと感じるこの頃です。そこで、一昨年くらいから、早朝「なんちゃってランニング」を始めました。ただ2、3か月走っては止め、また数か月経って始めて…の繰り返しです。

「できることしかやらない」をモットーに、ぼちぼち続けていくつもりです。



C S (Church School, 教会学校) キャンプにて

近江金田教会 | 検索

2025 年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2025年4月11日～2025年9月5日 ()内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援献金 (団体)

一関教会婦人会	5,000	石井 光子	5,000
軽井沢南教会	1,000	石坂 桂子	10,000
関東学院小学校	20,000	石田伊志子	3,000
御器所教会	10,000	石橋えり子	5,000
島村教会	10,000	石橋 光朗	2,000
代田教会	10,000	井上 富子	5,000
鶴川シオン幼稚園クローバーの会	17,423	井本 謙一	10,000
日本基督教団石川地区教会婦人会連合	14,750	内田 昌宏	10,000
日野台教会	30,000	大関世津子	2,000
富士宮教会	5,000	大沼 洋美	10,000
箕面教会	10,000	大林幹明・克江	10,000
ユアチャーチ	10,000	大森 清一	3,000
六角橋教会	30,000	小畑真知子	5,000
吾亦紅	10,000	貝塚 夕紀代	5,000
合計 14 件 / 183,173 円		加藤千鶴子	3,000

後援献金 (個人)

赤松 礼子	6,000(2)	金井 和夫	5,000
赤嶺 珠子	3,000	澤澤 幸雄	5,000
秋山 宣子	6,000(2)	川島 堅二	5,000
浅野 直人	5,000	川谷 恵子	5,000
安積 力也	20,000	北間 正義	10,000
足立こずえ	3,000	宜野座恵子	5,000
新 清緑	5,000	吉良 保子	5,000
阿部 洋子	3,000	久保マサ子	1,770
荒井 庸子	10,000	熊田 敏子	3,000
新木 綾	400	小出清信・公子	5,620
有住 一郎	2,000	小出美智子	13,000(2)
池迫 嗣子	5,000	小手川 到	10,000
池田 伯	10,000	小柳 伸顕	3,000
		近藤 恵・華子	2,000

近藤 康夫

近藤 康夫	5,000	近藤 恵子	3,000
齊藤 恵子	10,000	櫻井 淳子	5,000
笹淵いつみ	2,000	佐藤 節男	5,000
三宮 千枝	5,000	下園 弘子	10,000
三浦 謙一	10,000	下屋敷統太	1,000
鈴木 一宏	2,000	鈴木 和吉	3,000
高橋 淑恵	10,000	山田 裕	5,000
高柳 富夫	10,000	山本 直樹	1,000
田中 暉彦	3,000	吉田 光子	5,000
張 連淑・郭 鐘洙	5,000	ライナー ホルト	4,000
月本 昭男	5,000	和久井輝夫	10,000(2)
戸井 雄二	3,000	渡辺 英俊	3,000
中江 禮子	10,000	匿名	500
仲尾 和弘	5,000	匿名	550
西村保興子	5,000	匿名	3,000
野崎 典子	5,000	匿名	3,000
原田 裕子	10,000	匿名	3,000
坂西千鶴子	5,000	合計 97 件 / 648,640 円	
比企 敦子	5,000	記念日他献金 (団体)	
深井奈緒子	1,770	荒川教会	5,000
藤本 謙一	3,000	生田教会	99,900
藤田 清	7,000	在日大韓基督教会	20,000
藤原 睦子	10,000	永山教会	18,000
古橋 克己	10,000	二宮教会	5,000
細川 敦子	10,000	水口教会	2,000
		合計 5 件 / 50,000 円	

記念日他献金 (個人)

石田伊志子	5,000	井上 富子	10,000
		尾崎 二郎	1,390
		菅野百合子	3,000
		宜野座恵子	5,000
		木下 良子	10,000
		近藤 恵・華子	1,000
		菅原 正子	50,000
		高橋とも子	10,000
		知念 宏隆	6,000
		中村久美子	10,000
		中村まさ代	5,000
		萩原 孝博	5,000
		原田 和子	5,000
		福居 幸子	5,000
		三原 仁子	20,000
		柳沢 洋子	10,000
		ロバート・主子ウイットマー	20,000
		合計 18 件 / 181,390 円	
		現品寄付	
		眞崎麗子	
		ひとつぶ献金	
		日野台教会	9,500
		生田教会	99,900
		萩窪教会	53,200
		熱海青空会	5,000
		生田教会	61,500
		合計 5 件 / 229,100 円	

お知らせ

* 尊い献金をお送りくださり感謝をいたします。これまででは、払込取扱票の通信欄「領収書 不要✓」の方以外に領収ハガキをお送りさせていただきました。郵便料値上げに伴い、これからは「領収書 要✓」の方のみに領収ハガキをお送りさせてい

ただきます。封書での送付をご希望の場合はその旨をご遠慮なくご記入ください。

* 「農村伝道神学校後援会」口座 (00120-6-24418) を今年12月に閉鎖いたします。今後は「学校法人 鶴川学院」口座 (00140-7-635524) にお送りいただければ幸いです。

* まちだ里のマルシェ

11月15日(土)10時～14時
農村伝道神学校(農伝)グラウンド
大銀杏の下で、農伝後援会が出店しています。遊びにいらしてください。
バス停「野津田車庫」から農伝への途中、野津田公園・上の原はらっぱが、町田市計画で大型バス 10 台の駐車場にされようとしています。上の原はらっぱの向かい側に、子どもの字で「みんなのハラッパをのこして!」と書かれた大看板があり、「まちだ未来新聞」が置いてあります。ご希望の方に「まちだ未来新聞」をお送りします。11/15 当日は農伝に駐車できません。車で来られる必要がある方はご相談ください。

* 農村伝道神学校支援コンサート

日時: 2026年3月7日(土)午後1時/3時
会場: まぶね教会 神奈川県川崎市麻生区
小田急線 柿生駅、東急線たまプラーザ駅よりバス「麻生不動入口」下車
出演: ムジカ・フェリチタ
イタリア語で「音楽の幸せ」という意味の素敵なアンサンブル
農伝グッズコーナーでのお買い物もお楽しみに! チラシができましたら、ご希望の方にお送りいたします。ご連絡ください。

* 農伝産ルバーブジャム

農伝産ブルーベリーソース

今年も沢山のご注文をいただき、完売いたしました。ご協力に心から感謝をいたします。
保育科卒業生の渡辺志津枝さんが北海道で製作くださる農伝支援ジャム(ルバーブ・りんご・柑橘類マーマレード)を通信販売とバザー販売いたします。

事務局だより

ご支援者の皆様にはいつも沢山のお祈りと献金を有難うございます。後援会では今年も農伝の竹を使ったクリスマス・オーナメント(支援グッズ)作りが猛暑の中でスタートし、ボランティアがそれぞれのたまものを生かして一つ一つの工程に取り組みました。農伝ならではの手作り品が皆様に喜んでいただけますように、と願っております。校地内での草刈り、中庭(Jean's Garden)や礼拝堂横の紫陽花の手入れなどにも、ボランティアが日々励み、校地の環境整備に貢献しています。2008年から神学校を支え続けてこられた「鶴川シオン幼稚園クローバーの会」が今年度をもって活動を閉じられることになりました。これまでの尊いお支えに感謝いたします。今年も秋からの教会バザー、近隣・地域で開催される催しにおいて農伝をご支援いただき、心より御礼申し上げます。
斎藤純子(実務委員)



農伝南斜面の竹林/今年2月の環境改善ワークショップで竹林の整備のために切り出した竹を使い、農伝グッズを作ります。

2025年度農村伝道神学校後援会会計報告

2025年4月1日～2025年8月31日現在

収入（献金・他）					前 年 同 期 比 (%)
献金区分	2025 年度 (4月～8月)		前年度同期		
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	
後 援 会 費 (団体)	15	193,173	13	170,000	114
〃 (個人)	102	710,640	114	915,516	78
記 念 日 他 献 金 (団体)	4	32,000	7	70,000	46
〃 (個人)	22	197,390	19	162,000	122
ひ と つ ぶ 献 金 (団体)	7	252,300	7	275,620	92
グ ヅ ズ / コ ン サ ー ト		271,640		304,832	89
合 計	150	1,657,143	160	1,897,968	87

発行 農村伝道神学校後援会
会長 島 しづ子
事務局長 長谷川りゑ子

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024
TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711

・Eメール 後援会 kouenkai@noden.ac.jp
農村伝道神学校 noden@pony.ocn.ne.jp
・ホームページ https://noden.ac.jp/
・郵便振替口座 00140-7-635524
加入者名 学校法人鶴川学院